

1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
10月	平均気温(°C)	15.5	17.4	13.3	13.4	9.8	11.4	12.9	14.1	月間平年比-1.2°C (低)
10月	降水量 (mm)	36.5	18.8	5.0	61.3	25.5	48.6	67.0	128.7	月間平年比 52% (少)
10月	日照量 (h)	18.8	55.6	35.0	49.1	60.1	50.3	113.9	155.0	月間平年比 73% (少)

- 9月特記：猛暑日3 最高37.3°C(9/3) 最低9.2°C(9/30) 多雨24.5mm(9/25) 強風15.5m/s(9/3・南) 14.0m/s(9/7・南南西)
- 10月特記：最高27.1°C(10/12) 最低1.2°C(10/30) 多雨26.5mm(10/8) 23.5mm(10/23) 強風13.8m/s(10/30・北北東)
- 上旬(平年比)：気温(低) -1.9°C、降水量(極多) 194%、日照量(極少) 34%
- 中旬(平年比)：気温(並) -0.1°C、降水量(極少) 8%、日照量(少) 71%
- 下旬(平年比)：気温(低) -1.6°C、降水量(少) 52%、日照量(多) 119%
- 月間(平年比)：気温(低) -1.2°C、降水量(少) 52%、日照量(少) 73%



2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

【生産特記2020】

- ① 生産基盤(推定)：ぶどう350ha・りんご150ha・もも85ha・和梨12ha・西洋梨6ha・桜桃9ha・柿6ha・プラム40ha
- ② 生育経過：4月生育遅滞 5月少雨・干ばつ 6-7月長梅雨 8月酷暑 9月上旬猛暑 10月日照不足
- ③ 収穫開始：秋映9/28、スイート10/10、ゴールド10/15、王林10/26、名月10/26、百年11/5～
- ④ 収穫開始：ラフ9/18-27、シルバーベル9/28-10/11
- ⑤ プラム：生産量昨対 全体生産量43%見込み。結実不良・日焼け多発等で大きな減収で終了。
- ⑥ もも：生産量昨対 川白80%、黄金桃90%、白根90%、GP80%。収穫ピーク 川白8/20、黄金桃8/24、白根9/17、GP9/28。8月末までの晩生種の収穫進捗は平年比7-10日早く経過したが、極晩生は過去にない成熟遅滞で経過。面積減・結実不良・収穫前ロス多発・せん孔病被害発生等の複合的な要因で全体の生産量は昨年比85%終了見込み。
- ⑦ りんご：生産量昨対つがる100%、秋映105%、スイート100%、ゴールド105%。果実肥大良好。盆後につがる・秋映で重度の日焼け多発したが、大玉率高く、中生種の生産量は昨年を上回る見込み。
- ⑧ りんご：ふじ・ゴールドにつる割れ多発。ふじ発生率は過去5年で最多。長梅雨→干ばつ→9月降雨が影響したとみられる。
- ⑨ りんご：平均糖度 つがる11%、リップ13.5%、秋映13.2%、スイート14.5%、ゴールド14.3%。ふじ15.0%見込。
- ⑩ 和梨：果肉先行により収穫は昨年より7日程度早く経過。南水の果形良好。南水平均糖度14%台(陽だまり率40%超え)。全体に8月干ばつにより小玉率高い。
- ⑪ 西洋梨：果肉先行により収穫は昨年より7日程度早く経過。追熟は平年より早い。全体に老木化や8月干ばつにより小玉率高い。
- ⑫ ぶどう：南部果粒肥大良好、成熟早め。北部果粒肥大・成熟平年並み。巨峰の果実品質低下し出荷終盤、シャイン品質良好で出荷中、これから主産地の出荷最盛期。晩腐病被害散見。冷蔵ぶどう晴れ間を見て冷蔵庫搬入中。
- ⑬ 柿：収穫開始 市田柿10/20 琥珀の華10/23 平種11/5。糖度は高め。収穫遅れによる過熟発生に注意する。成熟は昨年より早い。生産量昨対105%見込み。
- ⑭ キウイF：収穫開始 黄色系10/7～ ハイワード10/17～ 収穫期は昨年よりやや早まる見込み。生産量は昨年並み。

【2020病害虫対策】

- ① 腐らん病：5月以降枝腐らん病発生非常に多い。梅雨期間感染拡大。秋季の発病が全域で目立つ。
- ② せん孔細菌病：夏型枝病斑が多く、台風による秋季感染心配される。収穫後のボルドー散布を徹底する。
- ③ 晩腐病：梅雨期間で感染。巨峰で発生目立った。
- ④ ハダニ類：りんごで9月上中旬の発生目立った。被害が大きい園では早期落葉・葉の機能低下目立った。
- ⑤ キンモンホソガ(りんご)：過去5年で最も多い発生量。第1次世代(6月下旬)から増加、第3世代(8月)で被害拡大。
- ⑥ カメムシ類：全体で被害多発。過去5年では最も多い発生量。8月の被害は平年並み。
- ⑦ 炭そ病(りんご)：8月中旬から発生。日焼け部分に併発。つがる・秋映で発生多い傾向。中生種中心に発生中。
- ⑧ 輪紋病(りんご)：8月下旬からふじに早期発生。収穫前の発生の多い。ロスの一因。
- ⑨ すず病(りんご)：梅雨感染。お盆過ぎから被害果散見。収穫前の発生も目立つ。